



平和首長会議ニュース

2019年9月 / 第117号

平和首長会議加盟都市数
163 各国・地域 **7,789** 自治体
日本国内加盟自治体数：1,732
(2019年9月1日現在)

平和首長会議の最新ニュースはこちらでチェック！

◆ウェブサイト:

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/index.html>

◆フェイスブック:

<https://www.facebook.com/mayorsforpeace>

「いいね！」をお待ちしています。

<<今号の内容>>

- ◆青少年「平和と交流」支援事業を実施しました
- ◆第9回平和首長会議国内加盟都市会議総会の次第等の送付について
- ◆国際平和デー(9月21日)記念行事を開催しましょう！
- ◆核兵器禁止条約採択2周年記念フォーラムを開催しました
- ◆ヒロシマ発平和関連ニュース(中国新聞社ヒロシマ平和メディアセンター提供記事)
- ◆広島市立大学からのお知らせ:大学院平和学研究科の学生を募集します
- ◆加盟都市の活動紹介
- ◆平和を希求する心を育てる取組の好事例を募集しています
- ◆平和首長会議行動計画(2017年-2020年)に掲げる取組の実施にご協力ください
- ◆被爆樹木二世の苗木の配付事業のご案内
- ◆「ヒバクシャ国際署名」への平和首長会議の賛同・協力について
- ◆平和首長会議会長訪問(8月7日~31日)
- ◆平和首長会議加盟自治体数: 163 各国・地域 7,789 自治体

■青少年「平和と交流」支援事業を実施しました

平和首長会議では、「広島・長崎への受け入れを組み込んだ青少年『平和と交流』支援事業等の充実」を重点取組項目に掲げ、今後の平和活動を担っていく青少年の育成を推進しています。

その一環として、被爆者の体験や平和への思いなどを学び、相互交流を深めてもらうために広島市等が実施している事業に国内外の加盟都市の青少年が参加する場合に、その経費の一部を支援しています。また、当該事業のプログラムに加え、平和首長会議の独自プログラムを実施しています。

今年度は、7月下旬から8月中旬にかけて、以下の3つの事業を実施しました。

●「HIROSHIMA and PEACE」 [7月30日~8月9日]

広島市立大学が主催する「HIROSHIMA and PEACE」は、世界中から集まった若者達が、「ヒロシマと平和」を英語で学び、討論する夏期集中講座です。平和首長会議の支援を受け、国内外の加盟都市8都市から8名の青少年が参加しました。一行は、大学のプログラムに加え、期間中の2日間、平和首長会議が実施する独自プログラムに参加し、平和への取組について意見交換等を行いました。



8月7日のプログラムの様子

▼平和首長会議独自プログラムについて(平和首長会議フェイスブック):

[7月30日](#)、[8月7日](#)

▼動画:独自プログラム参加者による派遣元加盟都市の平和の取組発表(平和首長会議フェイスブック・英語):

[東京都国立市\(日本\)](#)、[京都府京都市\(日本\)](#)

[インパール市\(インド\)](#)、[グラナラズ市\(スペイン\)](#)、[クラスノダール市\(ロシア\)](#)、[マンチェスター市\(英国\)](#)、[サントス市\(ブラジル\)](#)、[テヘラン市\(イラン\)](#)

▼動画:核兵器のない世界の実現に向けた今後の取組についての話し合い、グループ発表(平和首長会議フェイスブック、英語):

[グループ1:サントス市、京都市、グラナラズ市、インパール市](#)

[グループ2:クラスノダール市、国立市、マンチェスター市、テヘラン市](#)

●「青少年国際平和未来会議 2019 ヒロシマ」[8月4日～8月12日]

広島市及び姉妹・友好都市等の青少年による平和貢献をテーマにした交流活動「青少年国際平和未来会議 2019 ヒロシマ」に、平和首長会議の支援を受け、ハノーバー市(ドイツ)、テヘラン市(イラン)、イーペル市(ベルギー)、グリニー市(フランス)から4名の青少年が参加しました。

8月7日、一行は平和首長会議が実施する独自プログラムに参加し、派遣元の加盟都市で行われている平和への取組について発表しました。その後、核兵器のない世界の実現のためにどのような取組ができるか、他の参加者とともグループで話し合い、発表を行いました。



8月7日のプログラムの様子

▼「青少年国際平和未来会議 2019 ヒロシマ」平和首長会議独自プログラム実施の様子(平和首長会議フェイスブック):

<https://www.facebook.com/mayorsforpeace/posts/2197453710515350>

●「ひろしま子ども平和の集い」[8月5日～8月7日]

本事業は、平和記念式典参列のために全国から広島を訪れる子どもたちと広島の子供たちが平和のメッセージを発信する「ひろしま子ども平和の集い」に、国内加盟自治体の青少年を招へいするものです。平和首長会議の支援を受け、千葉県市原市、滋賀県日野町、岡山県岡山市、宮崎県日向市、沖縄県那覇市から中・高校生28名が参加しました。一行は、平和首長会議が実施する独自プログラムに参加し、グループディスカッション等を通して平和への思いを新たにしました。



8月7日のプログラムの様子

上記3事業についての詳しい報告は、後日平和首長会議ウェブサイトに掲載予定です。

■第9回平和首長会議国内加盟都市会議総会の次第等の送付について

10月24日(木)・25日(金)に東京都国立市で開催する第9回平和首長会議国内加盟都市会議総会について、ご出席と回答をいただいた自治体宛てに、Eメールで「次第」と「出席名簿」を10月4日(金)までに送付予定です。10月4日(金)までにEメールが届かない場合は、下記までお問い合わせください。

なお、Eメールは「出席連絡票」(6月11日付け照会)でご回答のメールアドレス宛にお送りします。

▼連絡先:

平和首長会議 国内加盟都市会議総会担当

電話 082-242-8872

Email: rentai@pcf.city.hiroshima.jp

=====
■国際平和デー(9月21日)記念行事を開催しましょう!
=====

国連では、毎年9月21日を「国際平和デー」と定め、世界中の停戦と非暴力の日としてこの日一日敵対行為をやめるよう呼び掛けています。今年の「国際平和デー」のテーマは「平和のために気候変動対策に取り組もう(仮訳)“Climate Action for Peace”」です。

平和首長会議も「国際平和デー」の理念に賛同し、これまで世界各地に記念行事開催の呼び掛けを行ってきました。各加盟自治体においても、こうした趣旨をご理解いただき、2019年の国際平和デー記念行事を開催して下さるようお願いいたします。

▼International Day of Peace 21 September(英語)(国連ウェブサイト):

<http://www.un.org/en/events/peaceday/>

▼昨年広島市で開催された「国際平和デー」記念行事の様子(平和首長会議ウェブサイト):

http://www.mayorsforpeace.org/jp/whatsnew/news/180921_news.html

* 貴自治体で開催する「国際平和デー」記念行事の内容について、次のメールアドレスまでご一報ください。平和首長会議ウェブサイト等でご紹介いたします。

▼Email: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp

=====
■核兵器禁止条約採択2周年記念フォーラムを開催しました
=====

[2019年7月7日]

公益財団法人広島平和文化センターは、核兵器禁止条約採択から2周年を迎えた7月7日、赤十字国際委員会(ICRC)との共催で記念フォーラム「被爆者の思いを語り継ぐ若者たち」を開催しました。平和首長会議の会長である松井広島市長は、会場に集まった約180人の若者等に対し、冒頭の挨拶で「このフォーラムを契機として、核兵器のない世界の実現に向けて自らどのような行動ができるかしっかりと考えてほしい」と呼びかけました。

続いて、ICRC 軍事ユニット政策顧問であるマグナス・ロボル氏が講演を行い、「核兵器禁止条約の成功のカギは、若い世代の積極的な関わりを継続させられるかどうか。声をあげて、希望と決意をもって行動する勇気を奮い起こしてほしい」と力強く述べました。パネルディスカッションでは、4人の若者が、被爆者の体験を聞いて原爆の絵を描く活動や核兵器禁止条約の早期締結を求める署名活動などそれぞれ取り組んできた平和活動を紹介しました。その後、被爆体験証言者、被爆体験伝承者とともに、若い世代が担っていく役割について話し合いました。



平和首長会議は、行動計画(2017年-2020年)において、ICRC等の平和関係の国際組織とのネットワークを構築することを、取組項目の一つとして掲げています。今後も核兵器廃絶という共通の目標に向けて活動する国際組織との情報交換・連携を継続していきます。

▼赤十字国際レビュー「大きすぎる犠牲:人類が払う代償に照らした核兵器の再考」電子書籍版(ICRCウェブサイト):

<日本語訳>

<http://e-brief.icrc.org/issue/nuclear-weapons-the-human-cost-ja/?lang=ja>

<英語原文>

<http://e-brief.icrc.org/issue/nuclear-weapons-the-human-cost/>

=====
■ヒロシマ発平和関連ニュース (連載第59回)
=====

[中国新聞社ヒロシマ平和メディアセンター提供記事]

百貨店の福屋(広島市中区)が被爆建物として知られる八丁堀本店で、創業90周年を迎える10月1日から被爆時の外壁の一部を初めて一般公開します。店内にコーナーを常設。来年の被爆75年という節目を見据え、戦前から続く同社の歴史の発信に乗り出します。

外壁はテラコッタ(素焼き)の破片5点です。1972年に外壁を全面的に張り替えた際に削り取り、保管していました。90年に広島大の故葉佐井博巳名誉教授(核物理学)たちが原爆炸裂(さくれつ)時の放射線量を推定する研究のためくりぬいており、その部分に円形のプレートが張ってあります。現在の建物の外壁に、被爆時のものは残っていません。

常設コーナーに加えて、電車通りに面した正面玄関の柱には「被爆建物 福屋百貨店」と書かれた銘板も掲示します。原爆の惨禍を乗り越え、復興のシンボルになったことを日本語と英語で紹介する予定です。

爆心地から710メートルに位置する同店は45年8月6日に内部を焼失。翌年2月に営業を再開し、増改築や耐震補強を重ねてきました。

市内に残る被爆建物は現在85件で、そのうち民間企業が所有しているのは、八丁堀本店のほか広島電鉄千田町変電所(中区)などわずか8件です。被爆建物の象徴だった広島アンデルセン(同)も建て替えが進んでいます。「歴史の証人」を残そうとする企業の志がうかがえます。

関連記事は次のアドレスで読めます。

○悲劇も復興も 街を見つめる 福屋八丁堀本店、被爆外壁展示へ

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=93365>

○大下洋嗣社長に聞く 被爆建物で百貨店を営む重み／広島の財産 守らねば

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=93372>

○博物館専門家、シンポ 5日広島 戦争被害 継承考える

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=93326>

○これからも核廃絶訴え 広島の高校生大使帰国報告

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=93305>

○核なき世界へ「広島宣言」 国際フォーラム 若者らプラン示す

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=93229>

=====

■広島市立大学からのお知らせ:大学院平和学研究科の学生を募集します

=====

広島市立大学は、平和学をはじめ国際政治学、国際法学、国際関係論の関連する専門領域の分析手法を修得し、現実の諸問題を専門的かつ総合的に分析する能力を有するプロフェッショナルな人材を養成するため、2019年4月に平和学研究科を開設しました。

紛争予防と紛争解決に向けた有効な予防措置を考案できる研究者、市民社会や国際社会に向けて平和創造の視点からアイデアを発信できるジャーナリスト及びマスメディア専門家、平和創造と平和構築に向けた国際公共政策の立案・策定及び公共政策・国際関係の実務に携わる公務員を養成することにより、平和創造及び平和維持への貢献を目指しています。

ついては、かかる課題に関心をお持ちの自治体職員の皆様に、平和学研究科への入学をご検討いただきたく、ご案内します。

意欲ある社会人の修学をバックアップするための社会人支援制度として、長期履修制度及び学費免除制度(申請による審査あり)を設けていますので、貴自治体職員に幅広く情報提供いただくようお願いします。

▼広島市立大学大学院平和学研究科の学生募集について(ご案内):

http://www.mayorsforpeace.org/jp/whatsnew/activity/data/2019/Sep2019_HCU_letter.pdf

▼ヒロシマ平和セミナー2019・進学説明会

10月5日(土)に、平和学研究科教員によるセミナーとともに、進学説明会を開催します。

<https://www.hiroshima-cu.ac.jp/department/c00002162/c00006584/peacestudies/c00016214/>

平和学研究科のカリキュラム、入試情報等の詳細については、以下のリンクをご覧ください。また、パンフレット送付のご希望があれば、広島平和研究所事務室にお問い合わせください。

▼平和学研究科ウェブサイト

<https://www.hiroshima-cu.ac.jp/department/c00002162/c00006584/peacestudies/>

=====

■加盟都市の活動紹介

=====

*米国 フロリダ州ゲインズビル市

10月に米国で開催される会議において日本の市長と意見交換を希望

平和首長会議加盟都市であるゲインズビル市の市長から、米国ジョージア州サバナ市で今年10月20日～23日に開催される「第42回米国南東部・日本合同会議(SEUS-Japan 2019)」への日本の市長の参加を期待しているとのメッセージが届きました。

【ゲインズビル市長からのメッセージ】

「ゲインズビル市は、米国商業部会の一員として、日本の都市との社会的・経済的な連携の推進による関係構築に積極的に取り組んでいます。10月の「SEUS-Japan 2019」に参加するにあたり、日本の市長の皆さんとお会いし、文化交流や経済発展を通じた関係構築、そして平和な社会の実現について意見交換をしたいと思っています。お会いできるのを楽しみにしています」

米国南東部・日本合同会議(Southeast U.S./Japan Association) は、アラバマ、フロリダ、ジョージア、ミシシッピ、ノース・カロライナ、サウス・カロライナ、テネシーの南東部7州の知事をはじめとする州政府関係者や民間企業、公共機関のメンバーで構成されており、日本側にはこれに対応して、日本・米国南東部会(Japan/U.S. Southeast Association)があります。日本と米国にある両組織の合同会議が毎年日本と米国で交互に開催されています。

▼「第42回米国南東部・日本合同会議(SEUS-Japan 2019)」ウェブサイト(英語):

<http://seusjapan2019.com/>

▼フロリダ州ゲインズビル市代表団連絡先(Ms. Staci Bertrand):

Email: staci@gainesvillechamber.com

=====
■平和を希求する心を育てる取組の好事例を募集しています
=====

平和首長会議事務局では、自治体、学校、NGO等、様々な実施主体による平和教育の取組事例を「平和首長会議ニュース」やウェブサイトで紹介することにより、そうした活動の広がりを促進していくため、各加盟都市において実施されている平和を希求する心を育てる取組の好事例を募集しています。

これまでに寄せいただいた取組事例をウェブサイトに掲載しています。他都市の事例を参考にして、より多くの都市に平和教育の取組を広げていただければ幸いです。

▼平和を希求する心を育てる取組の好事例の紹介コーナー(平和首長会議ウェブサイト):

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/ecbn/effort.html#section10>

また、事例募集は引き続き行っておりますので、随時情報提供をお願いいたします。いただいた取組事例は随時ウェブサイトでご紹介する予定です。

▼書類提出・問い合わせ先:

Email: rentai@pcf.city.hiroshima.jp

=====
■平和首長会議行動計画(2017年-2020年)に掲げる取組の実施にご協力ください
=====

2017年8月に長崎市で開催された第9回平和首長会議総会において、「平和首長会議行動計画(2017年-2020年)」が策定されました。この行動計画に掲げられた、世界恒久平和の実現に向けた国際世論を醸成・拡大するための取組の推進にご協力ください。

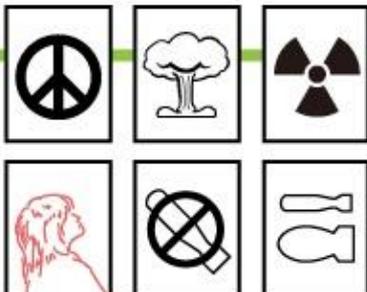
▼「平和首長会議行動計画(2017年-2020年)」(平和首長会議ウェブサイト):

http://www.mayorsforpeace.org/jp/report/meeting/data/9th_meeting/Action_Plan_2017-2020_J.pdf

【取組事例】



「核兵器禁止条約」の
早期締結を求める署名活動に
取り組んでください



平和首長会議原爆ポスター展を
開催しましょう



「広島・長崎講座」の普及に
ご協力ください

=====
■被爆樹木二世の苗木の配付事業のご案内
=====

平和首長会議では、第9回総会において策定された行動計画に沿った取組として、被爆樹木二世の苗木の配付を行っています。小・中学校の平和学習での活用や公共施設の改修にあわせた記念植樹など、平和のシンボルである被爆樹木二世の育成を通じて、市民の平和意識の醸成に取り組んでいただきますよう、ご検討をお願いします。

被爆樹木二世の苗木の配付を希望される場合、所定の申請書をEメール又はFAXにて事務局までお送りください。

※この事業は、通年でやっているため特に申請期限はありません。また、来年度以降も継続して実施しますので、来年度以降の苗木の受け入れについても、是非ご検討いただければ幸いです。



▼Email: rentai@pcf.city.hiroshima.jp

▼FAX: 082-242-7452

▼被爆樹木二世の苗木の配付申請書、事業紹介パンフレット印刷用データ等のダウンロード(平和首長会議ウェブサイト):

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/ecbn/effort.html#section04>

=====
■「ヒバクシャ国際署名」への平和首長会議の賛同・協力について
=====

平和首長会議では、第9回総会において策定された行動計画に基づき、「幅広い層の市民の平和意識の啓発」を目的として『ヒバクシャ国際署名』と連携した『核兵器禁止条約』の早期締結を求める署名活動を展開しています。

平和首長会議に寄せられた『核兵器禁止条約』の早期締結を求める署名と、「ヒバクシャ国際署名」で集められた署名を共に国連関係者に提出することとしています。

▼ヒバクシャ国際署名ウェブサイト:



=====
■平和首長会議会長訪問(8月7日~31日)
=====

松井一寛広島市長・平和首長会議会長は、先月次のような海外からの来訪者をお迎えしました。その際に平和首長会議の取組及び加盟要請への協力をお願いします。

*8月26日(月) ニキル・セス 国連事務次長補兼国連訓練調査研究所(ユニタール)総代表

=====
■平和首長会議加盟自治体数: 163 か国・地域 7,789 自治体
=====

9月1日付で、4自治体が加盟し、加盟自治体数は7,789(163か国・地域)となりました。加盟促進に関する皆様のご協力に心から感謝申し上げます。

ドイツから、副会長都市であり同国におけるリーダー都市であるハノーバー市の呼び掛けにより、1自治体が加盟しました。この他、フランス、イタリア、米国から各1自治体が加盟しました。

引き続き未加盟の近隣自治体や姉妹都市への働き掛けなど、皆様のご協力をよろしくお願いします。

▼9月1日付新規加盟自治体一覧(PDF)

http://www.mayorsforpeace.org/data/pdf/03_newmembers/2019/newmembers1909_jp.pdf

▼加盟自治体マップ

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/memberscity/map.html>

本メールニュースに関するご意見、お問合せ等は下記までご連絡ください

平和首長会議事務局

〒730-0811 広島市中区中島町 1-5

(公財)広島平和文化センター 平和首長会議・2020ビジョン推進課

TEL: 082-242-7821 FAX: 082-242-7452

▼Email: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp